

学校紹介動画

制作動機

学校のホームページを目にしたときに、画像や動画が少なく文字が多いため見づらいと感じた。また、どんな学校なのかというイメージも湧きづらいと感じた。なので本校のホームページに動画というアクセントを加え、より伝わりやすいものにできないかを考えた。併せて、現在減少傾向にある入学希望者数の増加につなげたい。

コンセプト

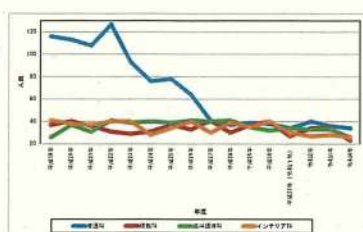
本校のホームページに動画というアクセントを加え、学校のイメージをより伝わりやすくする。

制作過程

1、入学生徒数の変動調査

本校で毎年発行している学校要覧をもとに入学者数の統計を調査する。

調査期間は、平成19年度～令和4年度の入学者数。



2、動画素材の収集

年間行事素材：先生方から提供

各学科の素材：先生方から提供

部活動の素材：各活動場所に行き撮影

その他の素材：本校図書館から提供 など



3、動画素材の選定

先生方からご提供いただいた素材および自らが撮影した素材の中から、紹介動画に使用できそうな素材を抽出する。

4、動画素材の編集

Adobe Photoshop を使用し、素材の尺度や解像度、彩度などを編集する。



5、動画の構成

○学校紹介動画

「沿革→学校教育目標→年間行事→学科紹介
(理数科、普通科、森林環境科、インテリア科)」

○部活動紹介動画

「男子バレーボール部→女子バレーボール部
→男子バスケットボール部→女子バスケットボール部
→卓球部→ハンドボール部→バドミントン部→相撲部
→剣道部→野球部→弓道部」

6、動画の作成

動画構成をもとに Adobe PremierePro を使用し、選定素材を動画にまとめる。



7、動画の編集

制作した動画を、第三者にも視聴していただき多くの意見をもとに、改めてより良いものにする。



考察・まとめ

本校の入学生徒数の変動調査より、平成19年の木曾青峰高校開校時に比べ全学科で入学生徒数が減少していることから、木曾地区の少子高齢化が著しく進行しているとともに、本校の教育活動が広く認知されていないことが考えられる。

動画制作においては、素材収集を通して私たちが3年間通じた学校について深く知るきっかけになった。また、動画制作を通して情報関連機器の操作方法を習得することができた。このことは、情報化社会の中で生きていく私たちにとって大きな力となると考えられる。

最後に、この紹介動画を通して多くの方々に本校を認知していただき、新しい教育活動の展開と減少傾向にある入学希望者数が増加に転じてくれれば動画を制作した意義があると感じる。

「学校紹介動画制作」～青峰のHPにアクセントを～

2022年度 長野県木曾青峰高等学校 インテリア科

菊池 彩乃 下出 桜

1. はじめに

現代の若年世代の多くは文字を読むことから離れ、画像や動画といったコンテンツから情報を得ているように感じる。私たちは学校の宣伝ツールであるホームページ(HP)を目にしたときに、画像や動画が少なく、文字が多いため見づらく、どんな学校なのかというイメージが湧きづらいと感じた。そこで、本校のHPに動画というアクセントを加え、より伝わりやすいものにできないか考えた。



図1 現在のホームページ

①入学生徒数の変動調査

本校で毎年発行している学校要覧をもとに入学者数の統計を調査する。調査期間は、平成19年度～令和4年度の入学者数。

②動画素材の収集

年間行事素材：先生方から提供

各学科の素材：先生方から提供

部活動の素材：各活動場所に行き撮影

その他の素材：本校図書館から提供 など



図2 動画素材の収集

2. 研究目的

本校のHPは文字が多くて見づらく、学校のイメージが湧きづらいため、HPに動画を加え見やすくわかりやすいものにする。また、HPの閲覧数を増やし現在減少傾向にある入学者数の増加につなげる。

3. 研究(制作)方法

(1) 制作場所および期間

制作場所：木曾青峰高等学校専門科棟3階

制作期間：令和4年4月～令和5年1月下旬

(2) 撮影機材および使用ソフト

撮影機材：スマートフォン、一眼レフカメラ、GoPro、ドローン など

使用ソフト：Adobe PremierePro、Photoshop

(3) 手順及び活動過程

③動画素材の選定

先生方からご提供いただいた素材および自らが撮影した素材の中から、紹介動画に使用できそうな素材を抽出する。

④動画素材の編集

Adobe Photoshopを使用し、素材の尺度や解像度、彩度などを編集する。

⑤動画の構成

○学校紹介動画

「沿革→学校教育目標→年間行事→学科紹介(理数科、普通科、森林環境科、インテリア科)」

○部活動紹介動画

「男子バスケットボール部→女子バスケットボール部→男子バレーボール部→女子バレーボール部→ハンドボール部→卓球部→バドミントン部→剣道部→相撲部→弓道部→陸上部→野球部→サッカー部」

一部」

⑥動画の制作

⑤の動画構成をもとに Adobe PremierePro を使用し、③の選定素材を動画にまとめる。

⑦動画の編集

⑥で制作した動画を、第三者にも視聴していた
だき多くの意見をもとに、改めてより良いものに
する。



図3 動画の編集

4. 結果

(1) 入学生徒数の変動調査結果

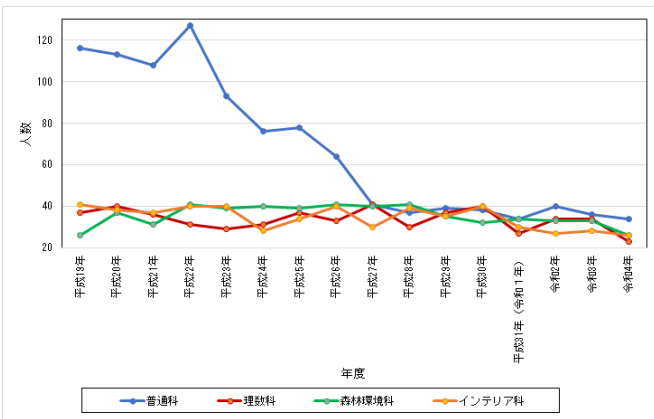


図4 入学生徒数の変動

〈統計全体〉

- ・全学科が募集定員に満たさない年のほうが多い。
(普通科 H19～21年、23年：120名、H22：160名、H24～26年：80名、H27年～：40名、他3学科 H19年～：40名)

・少子高齢化による入学希望者の減少により、募集定員が縮小されている。

・統計で示す16年間で理数科、インテリア科は、入学者数の増減が1年周期で繰り返されている。

〈各学科の統計〉

・普通科は、平成23年を機に募集定員の縮小、それに伴い学級数と生徒数が減少している。

・理数科は、年によって入学生徒数の増減が激し

い。

・森林環境科は、平成28年から徐々に入学生徒数が減少している。

・インテリア科は、平成30年から入学生徒数が著しく減少している。

(2) 紹介動画(表紙)



図5 学校紹介動画



図6 部活動紹介動画

5. 考察・まとめ

本校の入学生徒数の変動調査より、平成19年の木曾青峰高校開校時に比べ全学科で入学生徒数が減少していることから、木曾地区の少子高齢化が著しく進行しているとともに、本校の教育活動が広く認知されていないことが考えられる。

動画制作においては、素材収集を通して私たちが3年間過ごした学校について深く知るきっかけになった。また、動画制作を通して情報関連機器の操作方法を習得することができた。このことは、情報化社会の中で生きていく私たちにとって大きな力となると考えられる。

最後に、この紹介動画を通して多くの方々に本校を認知していただき、新しい教育活動の展開と減少傾向にある入学希望者数が増加に転じてくれれば動画を制作した意義があると感じる。

6. 今後の課題

本研究では、学校紹介動画および部活動紹介動画の制作を行った。今後は、各学科を詳細にまとめた動画の制作や年間行事一つ一つで生徒インタビューを実施し、本校に在籍する生徒の生の声を世間の皆さんに発信していきたいと考えている。併せて、SNS等を使用した宣伝活動を行い、新しい教育活動の展開と入学希望者数増加の足掛かりとしたい。